

平成二十七年学力検査

全日制課程 A

第一時限問題 国語

検査時間 九時十分から九時五十分まで

「解答始め」という指示があるまで、次の注意をよく読みなさい。

注 意

- (一) 解答用紙は、この問題用紙とは別になっています。
- (二) 「解答始め」という指示で、すぐ学科名と受検番号をこの表紙と解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (三) 問題は(1)ページから(6)ページまであります。(6)ページの次は白紙になっています。受検番号などを記入したあと、問題の各ページを確かめ、不備のある場合は手をあげて申し出なさい。
- (四) 答えはすべて解答用紙の決められた欄に書きなさい。
- (五) 印刷の文字が不鮮明なときは、手をあげて質問してもよろしい。
- (六) 「解答やめ」という指示で、書くことをやめ、解答用紙と問題用紙を別々にして机の上に置きなさい。

学 科 名		科	受 検 番 号	第	番
-------------	--	---	------------------	---	---

国語

— 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

著作権の関係上、
文章は表示していません。

著作権の関係上、
文章は表示していません。

著作権の関係上、
文章は表示しておりません。

(青木 玉『底のない袋』による)

(注)

- ①②は段落符号である。
- 寝しな||寝ようとするとき。
- 根太、垂木、梁、棟||いずれも家屋の各部分を支える木材の名称。
- 習わし||習慣。
- 言葉の幸う国||言葉に宿る霊力が幸福をもたらす国。日本のこと。
- はばかられる||おのずと遠慮される。
- 二つ文字、牛の角文字、直ぐな文字、ゆがみ文字||「こ・い・し・く」の四文字を、それぞれの形によって表現したもの。
- 退つ引きならぬ||どうにもならない。
- 一瞥||ちらっと見ること。
- あたら||惜しいことに。
- 居回り||周囲。
- 幸くあれ||幸福であってほしい。

(一) ① 知らず知らずのうちに、最も近い意味で用いられていることばを、

第一段落の文章中からそのまま抜き出して書きなさい。

(二) 第二段落の内容を説明した次の文の [] にあてはまる最も適

当なことばを、第三段落の文章中からそのまま抜き出して、二字で書きなさい。

言葉は、人と人との間で、声に出して交わしたり、 [] にしたものを伝えたりするだけでなく、ひとりごとや、古くはまじないにも使われるなど、我々の生活と密接に結び付いている。

(三) ② 騒ぐ心の説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 言葉を授けられた幼い日になつかしむ思い
イ どのような手段を使っても伝えたい思い
ウ 目の前の危険を伝えられない歯がゆい思い
エ 生活が成り立たなくなると危惧する思い

(四) ③ にあてはまる最も適当なことばを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 頭の痛いこと イ 鼻が高いこと ウ 耳を疑うこと
エ 目に余ること オ 肩を持つこと

(五) ④ 言葉のもつ表情は豊かで奥行きのあるものだった。とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア かつて大人は皆声を出して文字を読んでいたのに、子どもも幼い頃からそれを聞いて育ち、豊かな表現力を身に付けたということ
イ 今は大人から子どもまで早口になったが、昭和初期の人々には、今よりも穏やかにゆっくりと話す心の余裕があったということ
ウ 昔の言葉は使う人の生活と結び付いており、年齢や立場による使い分けも明確で、言外に伝わるものを多く含んでいたということ
エ 現在は言葉の使い方が平均化しているが、昔は子どもと大人の言葉は別であり、大人の言葉が絶対的な規範であったということ

(六) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 両親に教えられた言葉や苦労して覚えた言葉は忘れることがない。
イ 日本語の未来についてこれまでの変化を基に予測することは難しい。
ウ 日本語をどんな人にとっても分かりやすい言葉へと戻す必要がある。
エ 言葉はお互いの伝えたい思いを通じ合わせる大切な手だてである。
オ 魅力的な言葉は声に出す習慣によって身に付いていくものである。

二 次の文章を読んで、あとの(一)から(六)までの問いに答えなさい。

著作権の関係上、
文章は表示しておりません。

著作権の関係上、
文章は表示しておりません。

著作権の関係上、
文章は表示しておりません。

(河野至恩『世界の読者に伝えるということ』による)

(注) ○□△は段落符号である。

- インパクト⇨他に与える強い印象。
- サイレント映画⇨音声を伴わない映画。画面に合わせて活動弁士が説明する。
- ミスマッチ⇨つり合わないこと。
- ニーズ⇨要求。
- ワシントン・ポスト紙⇨アメリカの新聞。
- エスニック料理⇨民族やその文化に由来する料理。
- アレンジ⇨再構成すること。

著作権の関係上、
文章は表示しておりません。

① (一) 成果が上がっていないとはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア メディアが海外に伝える日本文化は、実際の姿と異なっていること
 - イ 日本人が懸命に日本文化を伝えているのに、海外では印象が薄いこと
 - ウ 海外で人気の日本文化のイベントが、日本では知られていないこと
 - エ 日本文化は海外の人々が日頃から見慣れていて、新鮮に映らないこと
- (二) 筆者は第三段落で、海外への日本文化の発信が成果を上げるために必要なことについて述べている。それを要約して、八十字以上九十字以下で書きなさい。ただし、「発信したいこと」、「関心」という二つのことばを使って、「海外への発信が成果を上げるには、……」という書き出しで書き、「……必要がある。」で結ぶこと。二つのことばはどのような順序で使ってもよい。

(注意) ・句読点も一字に数えて、一字分のマスを使うこと。

・文は、一文でも、二文以上でもよい。

(三) ② スシポリス の説明として最も適当なものを、次のアからオまでの

中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 日本料理を外国の人たちの味覚に合わせて提供しようとする者
- イ 日本料理を外国のメディアが正しく伝えたか調べようとする者
- ウ 日本料理の正統な味を守っているか厳しく監督しようとする者
- エ 海外でアレンジされた日本料理を逆輸入して広めようとする者
- オ 世界各地の料理を取り入れた日本料理を保護しようとする者

(四) ③ にあてはまる最も適当なことをばを、次のアからオまでの

中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 独自にアレンジしたかどうか
- イ 外国人シェフがつくったかどうか
- ウ 現地の人々の味覚に合うかどうか
- エ 日本人シェフがつくったかどうか
- オ 日本人の味覚に合うかどうか

(五) この文章の表現の特徴として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 自分の経験や具体的な例を根拠として説得力をもたせるとともに、接続語を的確に用いて論理的に考えを述べている。
- イ 最初に自分の意見を示すとともに、予想される反対意見にあらじめ反論を行うことよって説得力をもたせている。
- ウ 同じ意見をもつ他の人の文章を引用して説得力をもたせるとともに、断定的な表現を多く用いて力強さを出している。
- エ 読者に優しく語りかけるように表現するとともに、客観的な数字を根拠に示すことよって説得力をもたせている。

(六) この文章の内容として最も適当なものを、次のアからオの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

- ア 日本料理は元来エスニック料理であったが、発信する側の日本人の工夫よって、世界中に普及していったことを知る必要がある。
- イ 日本文化や実際の日本の姿を海外に発信する際は、日本人自身ではなく、現地の人たちの手で企画されるように進める必要がある。
- ウ 日本文化のよさを海外に伝えるためには、これまでの発想を見直し、海外から日本文化を学びに来る外国人を大切にすることがある。
- エ グローバル化が進む中、文化の発信の在り方を振り返り、正統な日本文化をそのまま伝えるという考え方を再検討する必要がある。
- オ 日本語を理解せず、日本に来たこともない人たちが海外で日本文化を楽しむ状況は、過去のことになりつつあると考える必要がある。

三 次の(一)から(三)までの問いに答えなさい。

(一) 次の①、②の文中の傍線部について、漢字はその読みをひらがなで書き、カタカナは漢字で書きなさい。

① 自然に対して畏怖の念を抱く。

② 彼の優れたコウセキをたたえる。

(二) 次の文中の「③」にあてはまる最も適当なことをばを、漢字二字で書きなさい。

日夜、「③」錯誤を重ね、新薬の開発を目指す。

(三) 次の④の文中の傍線部と同じ漢字を用いるものを、あとのアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

④ 待ち望んだ新型の国産旅客機がシユウコウする。

- ア 文化財をシユウフクする。
- イ 会場をカンシユウが埋める。
- ウ 事態のシユウソクを図る。
- エ 大統領のキョシユウに注目する。

四 次の漢文(書き下し文)を読んで、あとの(一)から(四)までの問いに答えなさい。(本文の……の左側は現代語訳です。)

有形の類、大は必ず小より起り、行久の物、族きは必ず少より起る。故に曰はく、「天下の難事は、必ず易きより作り、天下の大事は、必ず細なるより作る。」と。是を以て物を制せむと欲する者は、其の細なるに於いてす。故に曰はく、「難きを其の「②」に図り、大なるを手につける。

其の「③」に為す。」と。千丈の隄も、蟻の穴を以て潰え、百尺の室も、突隙の煙を以て焚く。故に、白圭の隄を行るや、其の穴を塞ぎ、家も、わずかな隙間から入った煙がもつて焼けてしまう。堤防を巡る際には

丈人の火を慎むや、其の隙を塗る。是を以て白圭に水難無く、丈人に老人が火の用心をする。白圭に任せれば水害はなく、老人に任せれば

火患無し。此れ皆易きを慎みて以て難きを避け、細を敬みて以て大に遠ざかる者なり。

(『韓非子』による)

(注) ○ 千丈・百尺＝丈、尺ともに長さの単位。ここでは、それぞれとも大きいことを示す。

○ 白圭＝古代の治水家。

○ 丈人＝「丈」は「杖」。杖をつく人。老人。

(一) 物を制せむと欲する者 の現代語訳として最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 物欲を捨て去ろうとする者

イ 物事をうまく運ぼうとする者

ウ 獲物を手に入れようとする者

エ 大きな建造物を築こうとする者

(二) 「②」と「③」にそれぞれあてはまることは組み合わせとして最も適当なものを、次のアからエまでの中から選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア ②は「易き」、③は「細なる」

イ ②は「軽き」、③は「薄なる」

ウ ②は「短き」、③は「小なる」

エ ②は「弱き」、③は「柔なる」

(三) 其の隙を塗る のは、何を避けるためか。その最も適当なことを、漢文(書き下し文)の中からそのまま抜き出して、二字で書きなさい。

(四) 次のアからエまでの中から、その内容がこの文章に書かれていることと一致するものを一つ選んで、そのかな符号を書きなさい。

ア 小さなことは気にかけない大らかさと節度をもった人は、天寿をまつとうすることができる。

イ 小規模な異変が繰り返り起こっているような国が、領地を拡大して大国となることは難しい。

ウ 日頃からささいなことにも注意を払って対処すれば、重大な事態を未然に防ぐことができる。

エ 大きな建造物を築く際には、その道の名人に加えて経験を重ねた老人の知恵を用いるのがよい。

(問題はこれで終わりです。)